

臨床研究

「小麦アレルギーの遺伝子多型解析」の研究計画変更について

国立研究開発法人理化学研究所生命医科学研究センターでは、標題の臨床研究を実施しておりますが、研究計画の変更が生じたのでお知らせいたします。

① 研究の概要

小麦アレルギーは小麦摂取後に蕁麻疹、顔面浮腫、呼吸困難、腹部症状、ショックなどの即時型アレルギー症状を示す食物アレルギーです。これまで小麦アレルギーの主要なアレルゲンはω-5 グリアジンであることが明らかにされ、ω-5 グリアジン特異的 IgE 検査が診断に広く臨床使用されています。本邦では小麦アレルギー発症頻度は成人の約 0.2%と推定され、小麦アレルギーの発症には特定の遺伝的背景が関与している可能性が高いと考えられます。本研究は、小麦アレルギーの発症に関与する遺伝子を特定することを目的として実施しています。

研究対象者は、島根大学医学部附属病院皮膚科他 8 施設で小麦アレルギーと診断された 20 歳以上の患者様で、血液約 5ml を採取させていただいています。この血液は個人が識別できないよう処理した後、DNA を抽出し、本研究所生命医科学研究センターに送付され、解析いたします。解析後は、健常者のデータベースと比較して小麦アレルギーの発症に関与する遺伝子を同定します。

② 研究期間：2018年10月30日～~~2023~~2026年3月~~30~~31日まで

③ 研究計画の変更点

本研究への参加研究機関は、島根大学医学部、国立病院機構福岡病院、東京医科歯科大学医学部、大阪大学医学部、広島大学医学部、兵庫県立加古川医療センター、国立病院機構相模原病院、神戸大学医学部、藤田医科大学医学部、理化学研究所でしたが、藤田医科大学は本研究参加機関から独立して、共同研究機関となります。藤田医科大学で収集された検体および患者情報は、本研究の研究計画に則り匿名化氏名と患者 ID を削除した後に郵送又は電子媒体で提供いただき、引き続き研究を実施します。基本的な解析の方法には変更はありません。

④ 今回の研究計画変更に関するお問い合わせや同意取り消しについて

藤田医科大学で収集された検体および患者情報を本研究に用いることに関して、詳し

作成日：2023年1月6日

いことをご知りになりたい方、用いることに同意されない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

なお、同意されない旨のお申し出は、2022年12月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

本施設研究責任者：生命医科学研究センター 蒔田 泰誠
〒230-0045 神奈川県横浜市鶴見区末広町 1-7-22
電話：045-503-9597

研究代表者：島根大学医学部皮膚科学 千貫 祐子
〒693-8501 出雲市塩冶町 8 9 - 1
電話：0853-20-2210
メール：derma@med.shimane-u.ac.jp